

校報



水 緒

「知徳の方向 あやまらず 進め」

第 1369号
(令和3年度 第4号)
洋野町立種市小学校
令和3年5月7日
児童数 239名

昨日は、学年・学級懇談会、PTA総会へのご出席ありがとうございました。

連休も終わり、学校ではもうすぐ運動会の取り組みも始まります。

リーダー 「先立ち」として 考えるべきこと

4月27日（火）には、児童総会が行われました。昨年度の児童総会は、実際に集まらないで質問用紙を配ってその紙に返事をするという形で行われましたが、今年は集まって行うことができました。各委員会の計画がみんなの前で確認されました。さらに、今年度の児童会スローガンも「**成長 ～明るく笑顔の種小っ子 みんなの絆～**」と確認されました。

総会の最後に、児童会に期待することを話しました。

2月の児童総会では、「児童会・委員会というのは、なんのために仕事をするのか」というお話をしました。「『自分が運動が好きだから体育委員会に入ろう』もよいけれどそれだけではないのです。例えば“みんなに運動をしてもらうため”に働くのです。「**全校のみんなにこうなってほしい**」という願いをもってそれを目標にして活動するのです。」とお話をしました。

今日はさらに、もう1つ、みなさんには、学校のリーダーとしてをお願いをしたいです。「リーダー」とは、古い言い方では「先立ち（さきだち）」といいます。「先立ち」とは先頭に立って進む人のことです。執行部が先頭になってあいさつ運動をしてくれています。すでに「先立ち」としてがんばってくれています。がんばってくれているので、しかも、ここには高学年が全員いるので、さらにもう1つがんばってほしいことを言いたいと思います。

それは、「**どれだけたくさんの人に参加してもらえるか**」ということを考えるということです。よい意味で、「**たくさんの人を巻き込む**」ということです。これまた、執行部の活動にヒントがあります。

児童会のスローガンを決めるとき、今回は、「どんな学校にしたいか」という考えを募集することから始めました。執行部が「このように決めました。これでいいですか。」と提案することも1つの方法ですが、今回は募集したのです。そしたら、そのおかげで、みんなが「どんな学校にしたいか」考えることができました。学級によっては話し合ったかもしれません。たくさんの考えが集まり、児童会室の黒板が全校から集まった考えで埋まっていました。

これが、「たくさんの人を巻き込む」ことです。執行部で考えてもいいのだけれど、募集することで「みんなで考え参加する」ことができたのです。

高学年は全校のリーダーです。児童会や委員会の活動は、その役目を果たすチャンスです。4年生は中学年のなかではリーダー役です。また、学級のなかでも、リーダーの役があるはずです。その、「リーダー」にお願いしたいことは、「どれだけたくさんの人をよい方に巻き込むか」をがんばるということです。たくさんの人が参加して、みんなの手で、よりよい種市小学校を創っていくのです。



今年度の運動会は

～ねらいたいのは「集団を育てること」～

コロナの状況はワクチン接種までにはまだ時間がかかりそうですので、基本的に昨年度から状況は改善しているとは言えず、全国的にはむしろ感染拡大が心配されているところです。そんな中、「運動会をどうするか」と思案しています。

これまでの経験も生かして対策を講じれば昨年度のようなやり方ならできるのではないかと考えてます。そして、単にやるだけでなく、「速さを競う」という競技としてのねらいに加え、「協力して競技や演目を創り上げる」ということや「赤白の組の勝敗を越えて係活動で運動会の成功に貢献する」とか「友達を応援する」という集団を育てるためのねらいにもこだわりたいと考えています。昨年のように多くの制約の中で行わざるを得ないところですが何とぞご理解とご協力をお願いいたします。

今時点での考えとしては

- ・ワクチンなどコロナ対策が進んでいない状況は昨年と変わっていませんから、感染リスクを考えて昼食をとらなくてよいように半日（午前中）開催にせざるを得ないのではないかと。
- ・密になる組体操、騎馬戦などは見送るが、徒競走だけでなく子ども達が“創り上げる”種目も可能な限り行いたい。
- ・地域の方を含めたくさんの方が参加する種目は、時間短縮と感染防止のためにやはり見送らざるを得ないのではないかと（種市小唄、幼児レース、来賓レースなど）。
- ・時間短縮のため、種目数を減らすのもやむを得ないだろう（学団ごとの実施や、団体競技・表現の選択など）。
- ・子どもが違うから昨年と同じ種目があってもよいだろう。むしろ、同じであれば昨年の下学年が上学年になって教える役目を果たすこともできて教育的意義は大きくなるだろう。

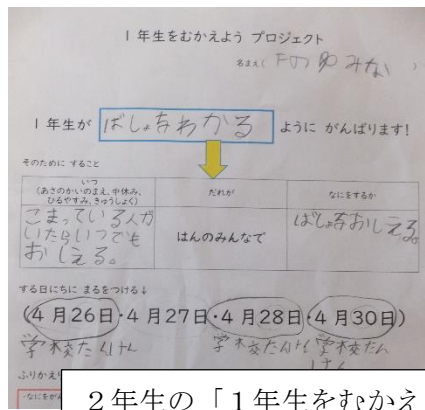
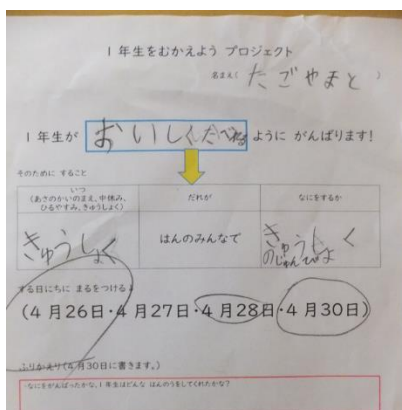
お客さまについて

- ・たくさんの方に見ていただきたいですし、子ども達にとっても見ていただくということは意義が大きいことです。一方で、まだ、感染拡大の心配もありますので、昨年と同様にご家族2名までとさせていただきます。
- ・今後の経過によりますが、「無観客」は、子どものためにもできるだけ避けたいと考えています。

「1年生をあたたかく

楽しく迎えよう」の広がり

執行部のあいさつ運動だけでなく、それぞれの学年にも活動が広がりました。6年生には休み時間に一緒に遊んであげている子がいたり、5年生は学校のルールを教えるためにポスターをつくっている子がいたりします。他の子どもそれぞれにできることを考えて活動しているようです。2年生は、給食の準備や後始末のしかたを教えに行くなどグループごとに活動をしていました。全部の学年が、児童会の提案にそって、「1年生を迎える取り組み」を行いました。執行部が、全校の先導役になったようです。



2年生の「1年生をむかえようプロジェクト」